

排気筒トリチウム捕集装置冷凍機の性能低下について

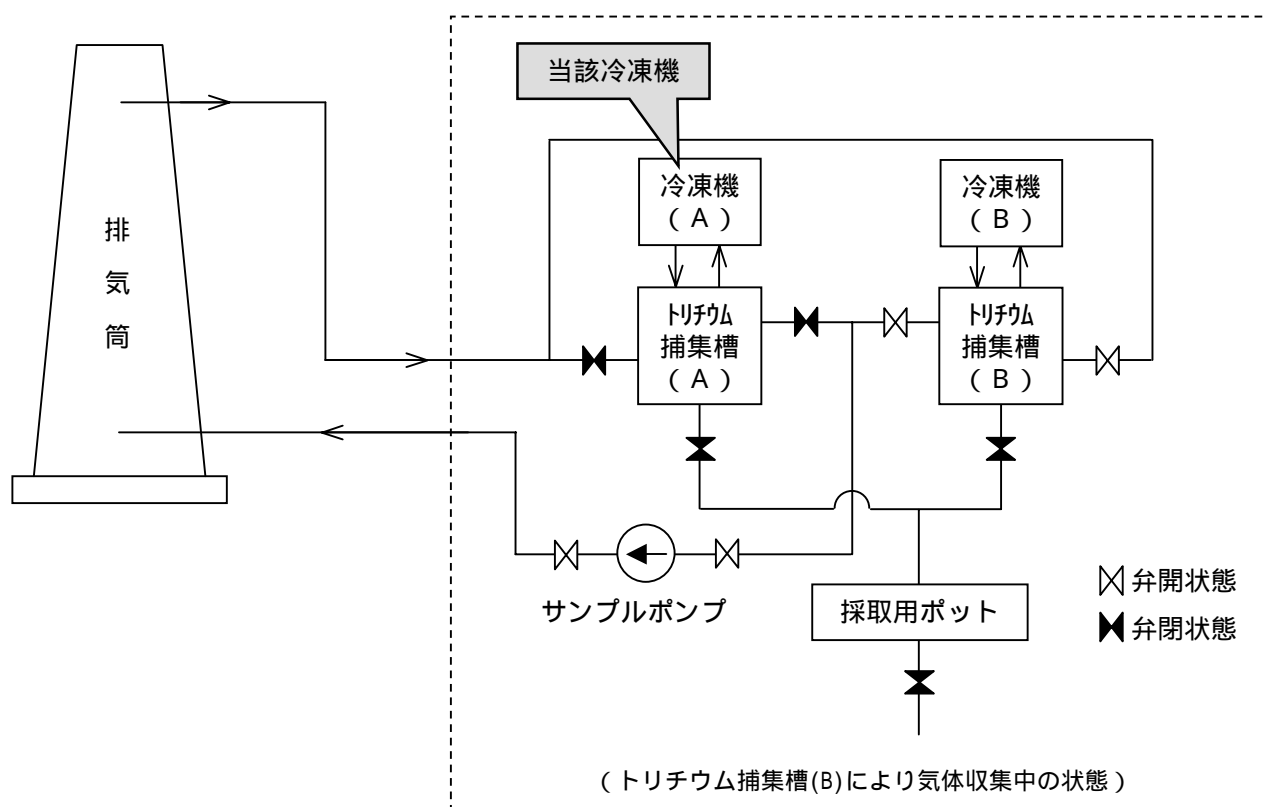
定格熱出力一定運転中のところ、8月3日19時19分、排気筒トリチウム捕集装置^{*1}の異常を示す警報が発生しました。

原因調査の結果、2台ある排気筒トリチウム捕集装置冷凍機のうち1台（A号機）において、既定温度の-65℃まで冷却されていないことが確認されました。

このことから、冷凍機（A）の性能低下と判断し、8月9日に当該冷凍機を取替え復旧しました。^{*2}

外部への放射能による影響はありません。

- * 1 気体廃棄物中のトリチウム濃度を測定するために、排気筒から気体を収集し、その中に含まれる湿分を凝結（凍結）、採取するための装置。湿分を凝結（凍結）させるため、装置内に冷凍機を備えている。
- * 2 冷凍機（A）を復旧するまでは、一時的に気体収集が行えない期間があったが、当該期間分は計算により補正し、評価する。



排気筒トリチウム捕集装置概要図